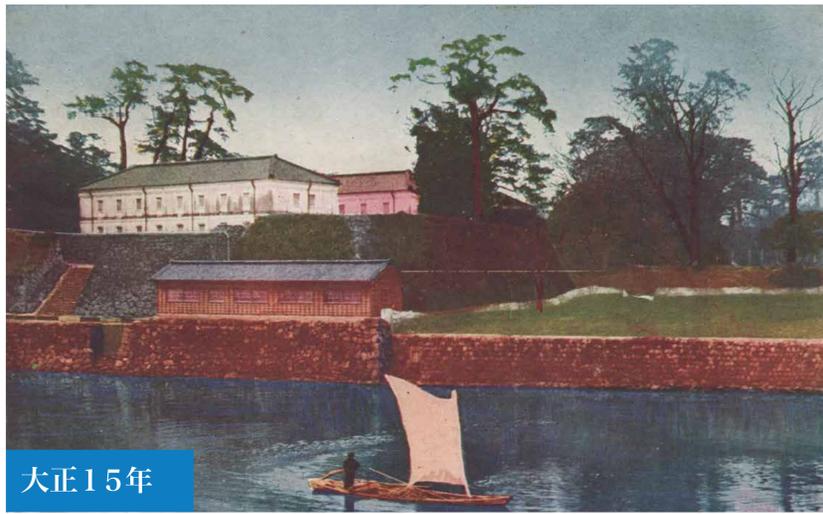


このまちの100年

「豊橋」

豊橋は江戸期には吉田藩の城下町、東海道の吉田宿として栄えました。明治期に入ると同名の藩と区別できるよう改名が命じられ、東海道の橋が豊川に架けられていたことから豊橋に。現在は東三河の中心都市となっています。



大正15年

戦国時代に築城された吉田城。戦前には陸軍歩兵第18連隊が置かれていた



大正期

豊橋駅の東側、札木通りの風景。右に豊橋郵便局が見える



大正期

豊橋衛戍病院。豊橋陸軍病院を経て、現在は国立病院機構豊橋医療センター



大正期

左が国鉄の豊橋駅、右が豊川鉄道・愛知電気鉄道の吉田駅。昭和18年に豊橋駅へ統合された



昭和10年頃

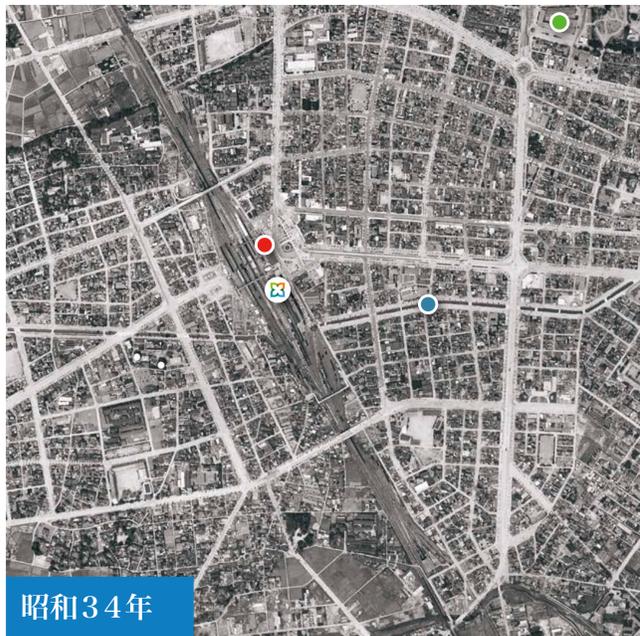
豊橋公会堂は中村與資平の設計で昭和6年完成した。現在も集会や公演などに利用されている



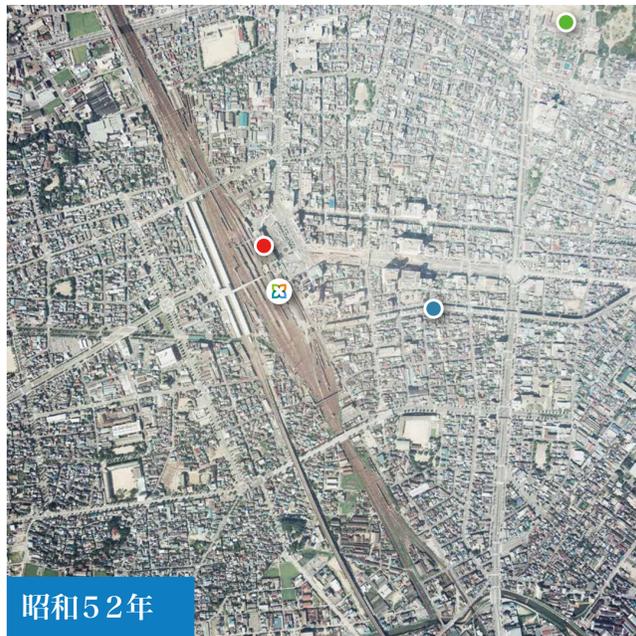
昭和34年頃

豊橋駅は空襲で焼失、昭和25年に再建された駅舎は国内の民衆駅(駅ビル)の第1号

上空からみた豊橋エリア



昭和34年



昭和52年



令和2年

● : 現在地
● : 牟呂用水/大豊ビル ● : 豊橋市役所 ● : 豊橋駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ